

## 「高精度地形データの地すべり調査での活用と方向性」

### 【趣旨】

20 世紀の世紀末、地形計測技術に革命が起こった。航空機搭載型レーザー地表計測システム（LiDAR : Light Detection and Ranging）が日本にも導入され航空測量各社で運用が始められた。以来、国土交通省による一級河川流域での LiDAR 計測が進められ、火山砂防の分野や地すべり対策分野においても高精度の地形計測が行われてきた。その結果、5m グリッドの地形情報が整備・無料提供され、GIS の活用で個人レベルでもさまざまなスケール、さまざまな表現法で地表形態を細密に表現出来るようになった。当然、地表の乱れを引き起こす地すべり現象の解明や対策に従事する本学会員にとって、これらのデータは現状把握あるいは異なる時期間での変位・移動過程までを知る強力な武器を得たことになる。

本シンポジウムでは、この地形計測技術のブレーク・スルーがこの 20 年間にいかなる成果をもたらし、今後どのように展開・発展するかについて議論していきたい。

### 【キーワード】

地すべり地形 LiDAR UAV DEM データ 地形解析 地すべり調査

### 【開催概要】

日時： 平成 30 年 4 月 16 日(月) 14:00~17:30

場所： 仙台市戦災復興記念館記念ホール

参加人数：約 130 名

### 【講演目次】

- 基調講演 (14:05~15:20)  
「国土地理院の地形計測ーこれまでとこれからー」  
宇根 寛氏 (国土地理院 地理地殻活動センター長)
- (15:20~15:30) ~ 休憩 ~
- 講演 (15:30~15:45)  
「地形図革命をいかに生き残るか！」  
八木浩司氏 (山形大学 地域教育文化学部教授)
- (15:45~16:10)  
「UAV 空撮による高分解能 DSM データの地すべり調査での活用事例」  
土佐信一氏 (国土防災技術株式会社 第二技術開発センター長)
- (16:10~16:35)  
「航空レーザ測量を活用した斜面変動の調査と対策」  
大粒来茂樹氏 (国際航業株式会社 東北支社主任)
- 総合討論 (16:35~17:30) コーディネーター：八木浩司氏 池田浩二氏  
話題提供：「DEM データの活用事例」 池田浩二氏